01 | 中高生の部屋 ミット

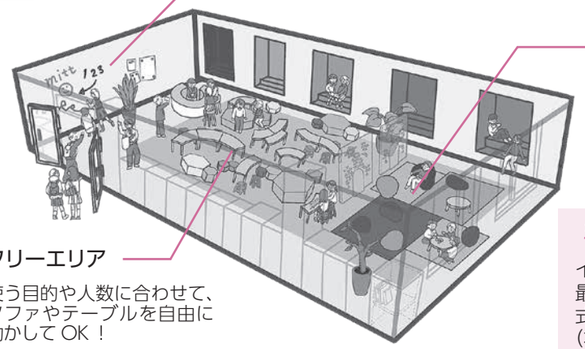
放課後や休日に、一人でも友達とでも自由に過ごせる居場所です。学校や学年を超えた学び・体験・交流を通じて、自分の興味や将来の可能性を広げ、一人ひとりの“やってみたい”を後押しします。

ミットとは？

「認める・認められる」と、包み込む「ミトン」が由来。中高生を受け入れる思いを込め、「ミライエティーンズ部※」で決めました。

※中高生が自由に参加できるミットの先行イベントとして開催

中高生の部屋 ミット
mitt



ミットの日常を発信中！

イベントなどの最新情報は公式 Instagram（右）で



ミライエティーンズ部に参加したみなさん



「ミット体育祭」のような企画を考えるなど、いろんなことに挑戦してみたいです。「やってみたい」と思ったことも、その日に来た人たちと一緒にできるから、気軽に言える気がします。学校とは違う関わりの中で、友達の意外な一面を知ったり、普段とは違う自分が出せたりする場所になったらいいなと思います。

羽賀 理沙 さん（高校１年生）

学校でも家でもない“やってみたい”を試せる場所



放課後や休みの日に、友達とボードゲームをしたり、初めて会う人と交流したりして過ごしたいです。学校や家とは違って、ミットでは学校や学年が違う人とも出会えます。お互いの学校ではやっている遊びを教え合ったり、一緒に企画を考えたりして、新しい関わりが生まれるのが楽しみです。

大滝 真一郎 さん（中学３年生）

集まる。交わる。ここから始まる。

東館に集う多彩な拠点。そこに寄せる期待や思い、ここから描くミライを聞きました。

02 | 国際交流センター「地球広場」

市民センターから移転する国際交流の拠点「地球広場」。世界の文化や人と出会い、交流できる場です。JICA（国際協力機構）と連携して世界各地とオンラインで交流するなど、新たな取り組みも進めていきます。



気軽に立ち寄れる、開かれた場所に



センター長
大矢　洋一 さん

多文化共生コーディネーター
スカンチャナッティー・ピート さん

国際交流に関心がなかった人にも、ふらっと地球広場に立ち寄ってほしいです。別の用事のついでに展示をのぞいたり、異文化に触れたりできる。そのくらい気軽な場所であってほしい。そこから新たな興味や出会いが生まれ、世界をもっと身近に感じてもらえればと思います。

世界に触れて新しい気付きを

展示やオンライン交流を通して、世界を「知る」だけでなく、五感で体験し、実際に人と話す機会をつくりたいです。話してみると、文化や見た目が違っても、同じ思いや共通点が見えてきます。長岡にいても世界はすぐ近くにあると感じてもらえるよう、橋渡しをしていきたいです。

03 | 長岡産業ビジネス交流館

経営や起業、就職・就労を支援する機関が集まる「長岡産業ビジネス交流館」。長岡商工会議所をはじめとする各機関が連携し、企業と働く人を幅広く支えます。

ここでの出会いを、次の挑戦の入り口に

中心市街地の再開発を機に、まちの真ん中にビジネスに関わる人が気軽に集まり、話せる拠点をつくりたいと考えました。それが長岡産業ビジネス交流館構想の出発点です。人口減少やAIの進展で大きく変化する社会・経済に対応するには、みんなの力を結集し、イノベーションを起こしていくことが必要です。その原動力となるのが、人と人との出会い。企業や大学、金融機関、行政に加え、学生や外国人など多様な人が顔を合わせることで、新しいアイデアやニーズが生まれ、次の挑戦へとつながっていきます。さまざまな人を迎え入れ、「ここに来れば何かあるかもしれない」と期待を持ってもらえる場所にしていきたいです。



西館との連携で、イノベーションを加速

NaDeC（ナデック） BASE（ベース）や産学協創センターなど西館の機能と連携。企業や学生、研究者などの交流を広げ、東西館の機能を結び付けることで、新たなアイデアや事業が生まれる動きを加速させます。



長岡商工会議所　会頭
大原　興人（おきと） さん